

市が助成する がん検診

対象者 ▶ ご加入の健康保険に関わらず、19歳以上の由布市民
持ち物 ▶ 検診料金、本人確認書類（マイナ保険証等）

結核・肺がん検診 《胸部エックス線検査》

40歳以上の方

■受診方法と費用

集団健診 : 無料
市内医療機関 : 無料

■検査方法

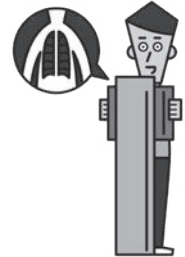
- ・胸のエックス線撮影を行う検査です。
- ・妊娠中の方(可能性がある方)は受診できません。

※医療機関で胸部エックス線検査を受診される場合は、健康診査とセットで受診してください。
※65歳以上の方は併せて結核検診として実施します。(感染症法で年に1回の結核検診が義務付けられています)
※2週間以上咳や痰が続いたり、痰に血が混じったりする場合は、早めに医療機関を受診しましょう。

39歳以下の方

■受診方法と費用

集団健診 : 2,200円



受診推奨年齢 ▶ 40歳～69歳

推奨される受診間隔 ▶ 年1回

大腸がん検診 《便潜血検査2日法》

■受診方法と費用

集団健診 : 500円 / 市内医療機関 : 500円

■検査方法

便を2日間とり、大腸からの出血の有無を調べます。

■注意事項

- ・医療機関と集団健診では検査容器が異なります。
- ・使用しなかった容器はご返却をお願いします。
- ・月経(生理)中を避けて便を採取してください。

■市内医療機関で受診される方

希望する由布市内の医療機関へお尋ねください。

■集団健診で受診される方

検診の2週間前までに予約いただいた方には事前に容器をご自宅に郵送いたします。
なお、容器は健康増進課(本庁舎)、挟間健康センター、湯布院健康センターでもお渡しが出来ます。



受診推奨年齢 ▶ 40歳～69歳

推奨される受診間隔 ▶ 年1回

胃がん検診 《胃部エックス線検査(バリウム検査)》

■受診方法と費用

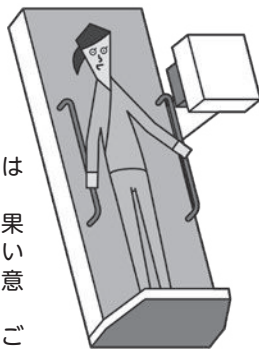
集団健診 : 1,000円

■検査方法

- ・発泡剤とバリウムを飲み、エックス線で撮影します。

■注意事項

- ・右記の13項目に該当する方は受診できません。
- ・その他、検診当日の問診結果によって検診を受診できない場合がありますので、ご注意ください。
- ・食事の注意点は8ページをご確認ください。



【受診できない方】

- ①バリウム検査でのかゆみや発疹を起こしたことがある
- ②最近1年以内に腸閉塞と診断された
- ③消化器の急性症状(吐血・下血等)がある
- ④バリウムでむせる
- ⑤体重が130kg以上ある
- ⑥検査当日、血糖降下剤やインスリンを使用している
- ⑦過去1年以内にお腹の手術(開腹)を受けた
- ⑧腎臓病(人工透析)等で水分制限をしている
- ⑨妊娠中または妊娠の可能性がある
- ⑩前日の夕食から10時間経過していない
- ⑪自力で立位を保持できない又は、手すりをつかむことが困難
- ⑫日頃の血圧が180/110mmHg以上
- ⑬ひどい便秘症(検査当日すでに3日以上排便のない方)

受診推奨年齢 ▶ 40歳～69歳

推奨される受診間隔 ▶ 年1回

乳がん検診

年齢によって実施できる検査が異なりますので、ご注意ください。

マンモグラフィ検査

40歳以上の方対象

■受診方法と費用

集団健診 : 1,000円
施設健診(※) : 1,000円



■検査方法

乳房をプラスチックの板で挟んで平たくし、乳房専用のエックス線装置で撮影します。
この時に乳房が圧迫されて多少の痛みがあります。

■注意事項

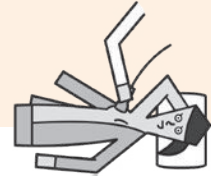
- ・妊娠中の方(可能性がある方)、豊胸手術を受けた方、ペースメーカーを挿入されている方は受診できません。
- ・授乳中の方は予約時にご相談ください。

超音波検査

39歳以下の方対象
(昭和62年4月1日～平成20年3月31日)

■受診方法と費用

集団健診 : 1,000円
施設健診(※) : 1,000円



■検査方法

上半身裸になって、仰向きに寝ていただきます。
超音波の伝導をよくするため、胸にゼリー状の液体を塗り、乳房の病変を検査する方法です。
妊娠中でも受けることが出来、20～30代の乳腺密度の高い方にお勧めです。

■注意事項

現在のところ、検診において科学的に死亡減少効果が認められた検査方法ではなく、がんではない乳腺症やのう胞等を拾い上げることもあります。

受診推奨年齢

40歳～69歳

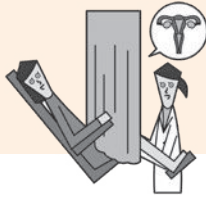
推奨される受診間隔

2年に1回

子宮頸がん検診 《視診・内診・細胞診》

■受診方法と費用

集団健診 : 1,000円
施設健診(※) : 1,000円
日野病院(※) : 1,000円



■検査方法

内診台に上がっていただき、子宮の入り口付近の細胞を軽くこすり採り、がん細胞がないか顕微鏡で検査します。
ほとんど痛みはなく、短時間で終わります。

■注意事項

- ・月経中は精度が低くなる可能性があり、結果に影響を及ぼしますので、なるべく避けることが望ましいです。
- ・市が実施している検診は子宮頸がんのみです。子宮体がんは医療機関で詳細な検査が必要です。出血など気になる症状がある時は、早めに医療機関を受診しましょう。

受診推奨年齢

20歳～69歳

推奨される受診間隔

2年に1回

(※) 令和9年3月31日時点で偶数年齢の方のみ助成対象です。

その他の
検査

肝炎ウイルス検査 《血液検査》

■対象

- ・今年度40歳になる方
- ・40歳以上で過去に検査をしたことのない方

■内容

B型肝炎とC型肝炎の有無を調べる検査です。

■受診方法と費用

集団健診 : 無料
市内医療機関 : 無料

要精密になったら、精密検査を受けるまでが検診です！

がん検診は自覚症状がない早期にがんを発見し、治療することで、がんによる死亡を減らすことを目的としています。市の検診で「要精密検査」と判断された場合は「がんの可能性ある」状態です。

「忙しいから…」 「自分は大丈夫！」と自己判断せず、必ず精密検査を受けるようにしましょう。

大腸がん
検診
の場合

市のがん検診
便潜血検査

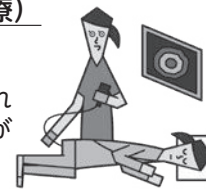


陽性(+)
=がん疑い

精密検査(保険診療)

大腸内視鏡検査

肛門から内視鏡を入れて、大腸の中に異常がないか検査します。



精密医療機関の
一覧はコチラから
ご確認ください

